

「高島の戦国時代」展、開催！

戦国時代の高島

室町時代末期から安土桃山時代は、戦乱が頻発したことから、戦国時代（15世紀末～16世紀末と呼ばれる時代）です。戦国時代の高島郡は、近江

の守護大名である六角氏の他、北近江に台頭する浅井氏などの有力な武家勢力の影響を受けながらも、織田信長による近江侵攻が及ぶ戦国時代末期まで、近江源氏佐々木氏一族である「高島七頭」をはじめとする在地

有力者が治めていました。「高島七頭」各氏のうち、台頭した越中氏・田中氏は六角氏方へ、朽木氏は足利將軍方につきますが、六角氏の勢力が弱まると、高島七頭は湖北の浅井氏と同盟を結び、信長によつて高島郡が攻略される

元亀年間（1570）頃まで、存続しました。その後、信長の高島郡の支配拠点は家臣の磯野員昌が守る新庄城、そして甥の織田信澄を城主とする大溝城に移されました。

この他にも市内には、高島七頭以外に在地有力者の存在も知られています。室町幕府の政所執事伊勢氏の被官であった海津衆饗庭氏・田屋氏・新保氏、琵琶湖の制海権の一部を握っていたとされる林氏などが知られます。また、延暦寺の荘園代官として、永禄年間（1558）1570には吉武吉岐守の子息らが「饗庭三坊」と呼ばれ、有力土豪として饗庭の村々に居住しました。

市内には、在地有力者の平地居館の痕跡とみられる区画や堀、土塁などの遺構、城館に関連する地名や絵図などが数多く残っています。

☎ 中江藤樹・たかしまミュージアム (32)0330

「高島の戦国時代」展

大河ドラマ「豊臣兄弟！」に関連するイベント（本号11ページ参照）が開催されることや、令和10年に大溝城築城450年を迎えることから、高島の戦国時代をテーマにした展示会を開催します。

大溝城を築城した織田信澄のもとと伝わる甲冑や信長の朽木越え関連資料、豊臣秀吉ゆかりの古文書などを展示します。魅力ある高島の戦国時代を学び、体感できる展示です。ぜひお越しください。



【場所】中江藤樹・

たかしまミュージアム

【会期】4月7日（火）～12月27日（日）

※月曜休館（月曜が祝日の場合は開館。翌平日が休館）

【入館料】一般（高校生以上）300円

団体（20人以上）200円

障がい者および介助者100円（手帳または手帳アプリを提示ください）

小・中学生、未就学児無料

※3月30日（日）～4月6日（日）は、展示会準備のため、休館となります。

この他にも市内には、高島七頭以外に在地有力者の存在も知られています。室町幕府の政所執事伊勢氏の被官であった海津衆饗庭氏・田屋氏・新保氏、琵琶湖の制海権の一部を握っていたとされる林氏などが知られます。また、延暦寺の荘園代



編集雑感

今、高島市がアツイですね！連続テレビ小説「ばけばけ」のロケ地や、大河ドラマ「豊臣兄弟！」ゆかりの地として注目を集めています。豊かな自然の中に、深い歴史が息づく高島だからこそ選ばれたのだと感じます。また、今月号で紹介しているようにドラマに関連したイベントや展示も行われます。このことをきっかけに高島市の魅力を再認識し、イベント等を通して高島市を盛り上げていきたいです！（K）



広報たかしま

令和8年

3

月号

No.314

発行▼高島市 編集▼政策部企画広報課

滋賀県高島市新旭町北畑ののの番地

☎0740(25)8000(代)
https://www.city.takashima.lg.jp
t-info@city.takashima.lg.jp